

令和元年 10 月 17 日
内閣官房

規制のサンドボックス制度に基づき、モビリティに関する
実証計画(4案件)が認定されました。

新技術等実証制度(「規制のサンドボックス制度」)に基づいて、モビリティに関する実証計画が、本日、4 件認定されました。

「規制のサンドボックス制度」に基づいて、モビリティ分野で実証計画が主務大臣に認定されるのは、これらの実証計画が初めてとなります。

1 件目は、株式会社 DADA から主務大臣である厚生労働大臣、経済産業大臣に対して申請された、「キャンピングカーの『空間』の活用に関する実証」に関する新技術等実証計画(以下「実証計画①」)です。

2020 年3月までを実証期間とし、沖縄県内にて、バスを改造したキャンピングカー「BUS HOUSE」を、運転できない措置を取った上で貸し出す実証を行い、キャンピングカーという「空間」に対するニーズの多様化について検証します(※実証計画の概要は資料1-①のとおり)。

2 件目は、株式会社 mobby ride から主務大臣である国家公安委員会、国土交通大臣、経済産業大臣に対して申請された「電動キックボードのシェアリング事業の実施に向けた走行実証」に関する新技術等実証計画(以下「実証計画②」)です。

2020 年 4 月までを実証期間とし、九州大学伊都キャンパス内にて、電動キックボードのシェアリング実証を実施します(※実証計画の概要は資料1-②のとおり)。

3 件目は、株式会社 Luup から主務大臣である国家公安委員会、国土交通大臣、経済産業大臣に対して申請された「電動キックボードのシェア

リング事業の実施に向けた走行実証」に関する新技術等実証計画(以下「実証計画③」)です。

2019年12月までを実証期間とし、横浜国立大学常盤台キャンパス内の一部区域にて、電動キックボードのシェアリング実証を実施します(※実証計画の概要は資料1-③のとおり)。

4件目は、glafit 株式会社及び和歌山市長から主務大臣である国家公安委員会、国土交通大臣、経済産業大臣に対して申請された「人力と電動モードを切替可能なハイブリッドバイクの自転車レーン走行実証」に関する新技術等実証計画(以下、「実証計画④」)です。

2020年1月までを実証期間とし、和歌山市内の公道を実証エリアとして、人力と電動モードを切替可能なハイブリッドバイクを今回実証用に改造した車両を用いた走行実証を実施します(※実証計画の概要は資料1-④のとおり)。

※規制のサンドボックス制度においては、内閣府と連携して、内閣官房(日本経済再生総合事務局)に、政府の一元的窓口が設けられており、一元的窓口においては、民間事業者に対する助言等を行っています。(規制のサンドボックス制度の仕組みは、資料2のとおりです。)

【問合せ先】

内閣官房 日本経済再生総合事務局(新技術等社会実装推進チーム)

担当:田邊、萩原

03-5253-2111(内線 84834)、03-3581-0769(直通)

【主務省庁 問合せ先】

(実証計画①)

厚生労働省 医薬・生活衛生局生活衛生課 担当:大塚、森田

03-5253-1111(内線 2431)

経済産業省 商務・サービスグループ クールジャパン政策課

担当者:三牧、石塚、知北

03-3501-1511(内線:3651~4)、03-3501-1750(直通)

(実証計画②~④)

国土交通省 自動車局技術政策課 担当:東海、江連

03-5253-8111(内線 42255)

(実証計画②~③)

経済産業省 製造産業局生活製品課 担当:杉浦、佐々木、大滝、落合

03-3501-1511(内線 3861~6)、03-3501-0969(直通)

(実証計画④)

経済産業省 製造産業局車両室 担当:山村、齊藤、中村、河津

03-3501-1511(内線 3851)、03-3501-1694(直通)

【認定実証実施者 問合せ先】

(実証計画①)

株式会社 DADA 担当:中野

090-9306-0714

(実証計画②)

株式会社 mobby ride 担当:安宅(あたけ)

092-717-3384(代表)

(実証計画③)

株式会社 Luup 担当:松本

090-6536-1115

(実証計画④)

glafit 株式会社 担当:安藤

050-3852-1236(代表)

和歌山市役所 産業交流局 産業部 産業政策課 担当:小林

073-435-1040(代表)

(以 上)